

ため、関係団体と連携しながら札幌市内でのシンポジウム開催に向けて調整してまいります。

本構想については、渡島総合開発期成会での令和5年度の要望事項として取り組めるよう調整を進めているところでありますが、北海道全体の振興・地域の活性化の底上げには、大変重要な事業として、オール北海道として取り組めるよう、北海道経済連合会などの民間団体とも連携を深めながら、北海道に働きかけてまいります。



青函トンネル記念館前で第2青函トンネル構想をPR

感染症対応、社会保障関係費、デジタル化・脱炭素・地方創生の推進などに係る歳出増を踏まえ、地方交付税が前年度比3.5%、6千133億円増の18兆538億円となったところであります。

当町における予算編成については、第5次福島町総合計画を基軸とし、有利な財源の確保を図るとともに、事業推進に向けた予算計上に努めております。

町の予算編成方針としては、経常経費の縮減に努めるとともに、定住向け町有住宅建設など大型事業が始まることから、優先順位の洗い出しと事業の確実な推進を図ってまいります。

まず歳入の町税においては、新型コロナウイルス感染症に関連し社会全体が経済低迷の影響を受けている状況から、ほぼ前年並みの4億9千200万円を計上しております。

また、主要な財源である普通交付税については、国の出口ベースや前年度実績などを考慮し、当初予算では6.0%増の17億4千400万円としたところであります。

歳出においては、昨年度解体が終わった跡地に建設する定住向け町有住宅整備事業の実施や、種苗センター整備事業及び吉岡温泉

整備事業に向けた設計費などの計上と、老朽化している生活館等の再編整備、併せて各地区の生活道路の改修などを重点的に取り組んでいくこととしております。

また、今年度も引き続き産業基盤の充実を図るためチャレンジスピリット応援事業を継続するとともに、少子高齢化に伴う子育て支援や定住対策に取り組んでまいります。

各会計の歳入歳出予算額は一般会計

42億7千69万3千円

国民健康保険特別会計

7億6千53万9千円

介護保険特別会計

5億4千947万9千円

(うち保険事業勘定5億4千770万5千円、サービス事業勘定17万4千円)

後期高齢者医療特別会計

8千64万7千円

浄化槽整備特別会計

6千536万8千円

町立診療所特別会計

1億1千23万7千円

水道事業特別会計

2億4千901万5千円

V むすび

以上、令和4年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症という私たちがこれまで経験したことのないような厳しい困難が立ちはだかつております。

このような困難な時代にあつて、地域が助け合う共助や公共が支援する公助が重要となります。

世界の歴史を紐解いてみますと、これまでも第二次世界大戦、世界恐慌、リーマンショックなど様々な困難があり、その都度、人類は英知を集結し、その困難を乗り越えてきた歴史があります。

我々の前に立ちほだかる壁は未知なるものがあり、未だ問題の解決に至っておりませんが、過去の歴史において、越えられない困難はなく、町民の生命と財産を守るという強い思いと行動をもって、町民の安心安全を優先的に取り組んでまいります。

私は町長就任以来、常に心に刻んでいる思い、そして町政に向き合う姿勢として、町民の思いに寄り添い、真摯で思いやりのある行政を目指してきたところであります。

私は、町の最高規範である「まちづくり基本条例」の基本理念を尊重し、まちづくりの主体である町民の声に耳を傾け、町民からま

ちづくりの仕事を託された議会と行政がしっかりと議論し、「協働によるまちづくり」の実現に努めてまいります。世界四大聖人の一人「孔子」の言葉に、「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」とあります。

孔子は、他人の身になつて思い、語り、行動することを強調しております。人の心も自分の心と同じように思いやる心の大切さを説いております。

福島町で暮らす町民一人ひとりが笑顔で過ごせるよう、他人を思いやる心をもって、新たな一年を町民の皆様と共に、本方針に掲げた政策の実現を目指してまいります。

これまで、町民並びに町議会議員の皆様から様々な機会を通じて、いただいた多くの意見や提言に、真摯に耳を傾け、町民の皆様の思いに誠実に向き合い、町民の思いに寄り添った政策の実現に向けて、職員一丸となつてさらなる町政の推進に邁進する所存であります。

最後に、町民の皆様の深いご理解とご協力並びに町議会議員の皆様のご指導とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。町政執行方針とさせていただきます。